

セグメント分析取組事例③（滋賀県長浜市）

分析の目的

- 施設の再編を検討するための資料の1つとすることを目的として、施設別行政コスト計算書及び貸借対照表を作成。今回の取組では、試行的に文化ホール施設について、「施設別行政評価シート」としてとりまとめた。

事例概要

- 非財務情報として、施設利用者数、開館日数、面積を用いて施設の単位あたりコストを算出し、複数年度分掲載することで施設間比較と経年比較を行うことが可能となった。
- 固定資産の額は固定資産台帳、地方債の額は起債台帳から計上し、複合施設は、建物は面積比で按分、土地は按分せずその旨を注記。
- 直営施設の場合は、予算執行データ等から各施設に係る支出を抽出。指定管理者制度を導入している施設は、指定管理者の収支決算書等をもとに人件費等の各費目に振り分ける。
- 複合施設の費用、収益については、合理的な基準を用いて按分し、配賦(指定管理施設においても同様)。

【作成例】

※このシートは、東京都町田市を例に作成しています。

事業(施設)名やその概要

事業(施設)名	区分	種別	面積	利用者数	開館日数
文化ホール	文化ホール	複合施設	1,234	5,678	30

事業(施設)の目標や実績

項目	目標	実績
利用者数	5,000	5,678
開館日数	25	30

経年比較を含めた行政コスト計算書

年度	施設別行政コスト	施設利用者数	単位あたりコスト
2020年度	10,000	5,000	2,000
2021年度	12,000	6,000	2,000

単位あたりコスト分析

コスト項目	2020年度	2021年度
人件費	5,000	6,000
材料費	3,000	4,000

経年比較を含めた貸借対照表

科目	2020年度	2021年度	増減
固定資産	100,000	110,000	10,000
負債	50,000	55,000	5,000

人員の状況

職名	人数	単位数
職員	10	10
嘱託	5	5

総括として成果分析や今後の課題を記載

本年度は、利用者数の増加に伴い、施設別行政コストが20%増加しました。今後の課題として、施設利用者の増加に伴い、1人あたりのコストが20%増加しました。

セグメント分析結果

- 施設別財務書類作成の取組を受け、平成30年度中に「施設別シート」の掲載する項目等の見直しを行い、担当課で作業し今後の課題等を考える資料として作成できた。

今後の課題・展望等

- 分析対象とする施設の範囲(施設利用料を徴収している施設など)については、今後の検討課題。
- 施設所管担当課において、複式簿記の知識不足から分析に至れないという意見もあり、研修や説明会等で理解を深めていけるよう進めていく必要がある。